

検討会の目的

- 新築着工戸数の減少や住宅価格の上昇が進む中、**国民が過度な負担なく希望する住生活を実現**するため、**一定の質が確保された住宅ストックが将来にわたって長く継承される環境を構築**する重要性が高まっている。
- こうした環境の構築に向けて、**住宅の品質・性能の維持保全及び維持保全等に関する情報の保存を促すための住宅市場の枠組み**や、**既存住宅の買主が安心して取引できる環境の整備に係る方策等**について、専門的知見から提言を得る。

委員等(案)

【委員（敬称略）】

座長	齊藤 広子	東京都市大学大学院情報データ科学研究科 特任教授（履歴情報WG主査）
委員	安藤 直広	日本住宅ローン株式会社代表取締役社長 （一社）日本モーゲージバンカー協議会会長
	池本 洋一	（株）リクルートSUUMO編集長 SUUMOリサーチセンター長
	伊丹 絵美子	大阪大学大学院工学研究科教授
	犬塚 浩	弁護士（瑕疵担保履行制度WG主査）
	権藤 智之	東京大学大学院工学系研究科准教授 （維持保全評価・既存評価WG主査）
	樋野 公宏	東京大学大学院工学系研究科教授
	藤本 秀一	国土技術政策総合研究所住宅研究部長
	松村 秀一	神戸芸術工科大学学長
	脇山 善夫	建築研究所建築生産研究グループ長

【オブザーバー】

- （一社）住宅生産団体連合会
- （一社）住宅性能評価・表示協会
- （一社）不動産協会
- （一社）マンション管理業協会
- （一社）優良ストック住宅推進協議会
- （独法）住宅金融支援機構

【関係行政機関】

- 不動産・建設経済局不動産課
- 住宅局住宅経済・法制課住宅金融室
- 住宅局参事官（マンション・賃貸住宅担当）付

【事務局】

- 住宅局住宅生産課
- 住宅局参事官
（住宅瑕疵担保対策担当）付
- 国土技術政策総合研究所

※本検討会の下に以下のWGを設置し具体的な方策について議論

- 維持保全評価・既存評価WG
- 履歴情報WG
- 瑕疵担保履行制度・消費者保護WG

スケジュール

- 令和8年10月8日（木） 第1回：検討の方向性の提示・討議
- 12月7日（月） 第2回：関係団体からのプレゼン、
論点の提示・討議
- 令和9年3月10日（水） 第3回：とりまとめ案

※開催形式：各回2時間、非公開・ハイブリッド形式で開催

※議事概要・会議資料：

原則、会議終了後に国土交通省ホームページに掲載
（座長が必要と認めるときは、その一部又は全部を非公開）

検討事項

一定の質が確保された住宅ストックが将来にわたって長く継承される環境の構築のための方策

〈住宅市場で望まれる品質・性能〉

- 消費者が住宅に望んでいる品質・性能とは何か

〈具体的な仕組み〉

- ①既存住宅を安心して取引できる環境が整備されるとともに、住宅の品質・性能の維持保全等に係る状況が住宅市場で適切に評価される仕組み
- ②住宅の品質・性能の維持保全等に係る状況を継続的に評価する仕組み
- ③住宅の品質・性能の維持保全等に係る情報を保存・活用する仕組み 等